

危険物仮貯蔵(仮取扱)承認申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日																
〇〇消防署 署長 〇〇 〇〇 殿	申請者 住所 塩竈市尾島町〇〇番〇〇号 氏名 (株)〇〇油槽所 代表取締役 塩釜 太郎 (印)															
設置者	住所 多賀城市鶴ヶ谷〇丁目〇〇番〇〇号															
	氏名 (株)〇〇油槽所 代表取締役 多賀城 次郎															
仮貯蔵・取扱の場所 塩釜市尾島町〇〇番〇〇号																
場所の区域別	防火地域別 準防火地域															
	用途地域別 工業地域															
仮貯蔵・取扱に使用する部分の面積	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 5%;">屋</td> <td style="width: 35%;">敷地面積</td> <td style="width: 15%;">m²</td> <td rowspan="2" style="width: 5%;">屋</td> <td colspan="2" style="width: 40%;">敷地面積 〇〇〇m²</td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>m²</td> <td rowspan="2" style="width: 5%;">外</td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">空地概要</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="width: 40%;">内</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	屋	敷地面積	m ²	屋	敷地面積 〇〇〇m ²		建築面積	m ²	外	空地概要		内			
	屋		敷地面積	m ²		屋	敷地面積 〇〇〇m ²									
		建築面積	m ²	外	空地概要											
	内															
仮貯蔵・取扱期間 平成〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 平成〇〇年〇〇月〇〇日																
危険物の類・品名・数量 第4類 第2石油類(灯油) 100kl																
危険物所有者住所・氏名 塩釜市尾島町〇〇番〇〇号 〇〇 〇〇																
貯蔵方法及び取扱方法 ポンプを使用し〇〇タンクの灯油を〇〇タンクへ移送するもの。																
管理概要 保安管理者立会いのもとに安全に留意し、実施するもの。																
消火設備 粉末消火器2本																
貯蔵又は取扱の理由 〇〇タンク清掃のため。																
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄														

備考 仮貯蔵、取扱所の構造図及び敷地の見取図を添付すること。
 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

[危険物仮貯蔵・仮取扱申請書記入要領]

1. 仮貯蔵、仮取扱のいずれか一方しか行わない場合は、実施しない申請を二重線で抹消する。
2. 申請日（申請書提出日）を記入する。
3. あて先は、**管轄消防署長名**を記入する。
4. 「申請者」欄は、申請者が法人の場合は、その名称、代表者氏名及び事務所の所在地とし、社印及び代表者印を押印する。
5. 「設置者」欄は、仮貯蔵、仮取扱をする場所が危険物施設内である場合に記入する。
6. 「仮貯蔵・取扱の場所」、「場所の区域別」及び「仮貯蔵・取扱に使用する部分の面積」は、仮貯蔵、仮取扱いをする所在地について記入する。
7. 「仮貯蔵・取扱期間」欄は、年月日を記入するが、その期間は10日以内である。
8. 「危険物の類・品名・数量」は、法別表に定める類、品名、仮貯蔵・仮取扱いをする最大数量を記入する。品名が多いときは、その品名を別紙として添付する。
9. 「危険物所有者住所・氏名」は、仮貯蔵・仮取扱いをする危険物の所有者について記入する。
10. 「貯蔵方法及び取扱方法」欄は、どのような貯蔵、取扱い方法をするのか記入し、現場周辺に設けるさく等の概要も記入する。
11. 「管理概要」及び「消火設備」欄は、設置する消火設備や巡視状況を記入する。
12. 「貯蔵又は取扱いの理由」欄は、その理由を簡記する。